

【中学生部門】優良賞

我が子に教える六つの基本

太田市立綿打中学校 2年 小林 凌久

私の子、つまり君がこの手紙を読んでいるという事は、君がもう十才になったという事だね。もうわかるでしょう。君はあと十年たつと成人して、大人になる。成人すれば、君は社会の一員として、仕事をしたりする。そこまではあと十年しかない。今まではやつついで生きて来たかもしれないけれど、そうはいかない。だから、これから、この先の人生を明るく、楽しく生きるために六つの基本を教えたい。

一つ目、あいさつ・返事をしっかりする。これは基本だ。返事は忘れないでおこう。はっきりと、大きな声で、人と関わる時に一番重要だ。

二つ目、うそをつかない。「うそも方便」という言葉があるけれど、うそをついて得をする人なんて誰一人いない。

三つ目、ある程度の計画を立てる。計画はちゃんと立てておこう。計画を立てないと、物のゴールも、スタートラインも見えない。計画があれば、やる気も出てくる。ただし、計画を立てたら絶対に計画通りに物事を進めよう。

四つ目、素直でいる事。素直は良い事だ。ひねくれていると、誰も付いて来なくなる。信用も失ってしまう。

五つ目、生き物と友人を大切にする。まず生き物から言わせてもらおう。生き物だって生きている。一生懸命生きている。その命を小馬鹿にする様な事をしてはいけない。次は友人についてだ。友人は人生を歩んでいく上でとても重要な味方だ。だから友人は大切にしなければいけない。いじめなんて絶対にやっちゃいけないよ。

ここまでたくさんぐだぐだ言ってきたけれど、これが最後だ。六つ目、自分に自信を持つ事。君は一人しかない。この世界を隅から隅まで探してもだ。だから、何を言われても、自信だけは無くさないでほしい。

さあ、私は全て言った。もう用意はできただろう。あとは君しだいだ。がんばってこの世界を生きて欲しい。

お父さんより。